

瀬戸内をのぞむ シンプルで機能的な まちづくりの拠点

特集

市役所新庁舎が完成 5月7日(火)に業務開始

平成29年から建設を進めてきた市役所新庁舎が完成し、5月7日(火)に開庁します。新たなまちづくりの拠点となる新庁舎の特徴や各階の配置についてお知らせします。

【建築概要】

規 模	地上8階、塔屋1階
構造形式	鉄筋コンクリート造+一部鉄骨造、 基礎免震構造
建築面積	1,929.87㎡
延床面積	12,261.41㎡

問総務課 ☎0848・67・6022

新庁舎の特徴



案内板

利用しやすく、
質の高い
市民サービスを
提供する庁舎

証明書の発行や福祉・子育ての手続きなど、市民の皆さんの利用頻度が高い窓口を1・2階に配置しました。また、城町庁舎や円一町庁舎などに分散していた部署を新庁舎に集約し、一カ所でより質の高い市民サービスを提供します。



多機能トイレ

入口から近い位置にエレベーターを配置したり、全ての階に多機能トイレを設置したりするなど、誰もが安心して利用できるよう「ユニバーサルデザイン」を取り入れました。



非常用発電機

市民の安心・
安全を支える
庁舎

災害時に災害対応の拠点としての機能を維持するための設備を導入しました。屋上に非常用発電機を設置し、3日間程度の停電に対応できるよう燃料を備蓄しています。上下水道が遮断された場合を想定し、受水槽や緊急汚水槽などを完備しました。



免震装置

地震の揺れを大幅に抑える基礎免震構造を採用しました。建物の地下に地震エネルギーを吸収する免震装置を38基配置しました。また、津波にも対応できるよう、1階フロアを浸水が想定される深さよりも高く設定しました。



維持管理用のバルコニー

経済的で
将来の変化に
対応できる
庁舎

熱を通しにくい外装材やガラスを採用するとともに、建物の維持管理用のバルコニーで直射日光を遮ることで空調費を抑えます。また、雨水をトイレの洗浄に利用するなど、自然エネルギーを有効活用します。



執務スペース

組織の改編に柔軟に対応するため、執務スペースの机や収納を均一に配置する「ユニバーサルレイアウト」を採用しました。組織改編や人事異動があっても、机などの並びは変更せず、人と書類の移動で対応し、レイアウト変更に伴う費用を削減します。

立地を生かし、
まちとつながる
庁舎

西野川の水面に呼応する白い水平ラインとまちとの調和に配慮した落ち着いた色調を採用しました。

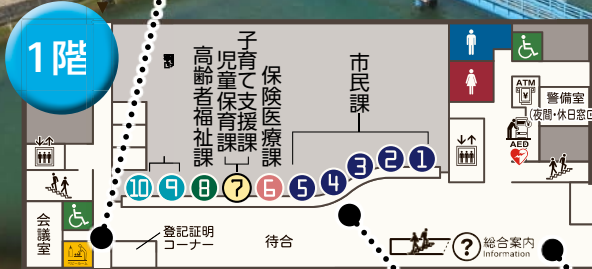


8階に瀬戸内海や町並みを一望できるスペースを設けました。人が集える場として、しばらくの間、一般開放します。



親しみが
感じられ、
人がつながる
きっかけを
つくる庁舎

各階の配置図



防災会議室

災害時に対策本部を設置します。災害の規模に合わせて、可動式の間仕切りで部屋の大きさを変更できます。



ベビールーム(授乳室)

安心して授乳ができるよう、個室としました。オムツの交換台や水道などを完備しています。



会議室(2階)

床と天井に県産材を採用し、木の温もりが感じられる空間にしました。しばらくの間、市民が自由に利用することが出来ます。



総合案内コーナー

係員が常駐し、用件に応じて担当の窓口を案内します。また、広報誌などを自由に取ることができるラックを併設します。



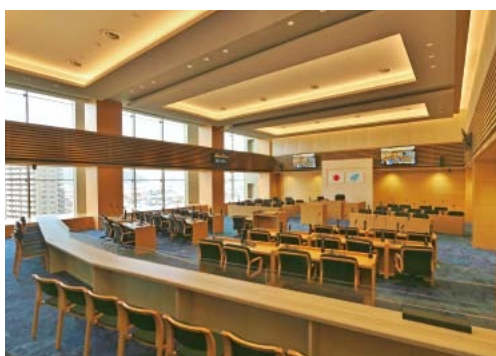
番号発券機

明るく見やすいタッチパネル式を採用しました。証明書の発行や戸籍の届け出など、手続きごとに順番待ちの人数が表示されます。

会議室（8階）
開庁後しばらくの間、市民が自由に利用できるスペースです。無料Wi-Fi（ワイファイ）が利用でき、瀬戸内海や町並みを一望できます。



議場
大きな窓を設け、明るく開放的な場所としました。車イスで利用できる傍聴スペースを設けました。



業務開始後、旧庁舎の解体や駐車場の工事が始まります

5月7日（火）の業務開始後、旧庁舎の解体や駐車場の整備を行います。利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

工事に伴い、本庁舎駐車場の駐車台数が少なくなります。駐車場が混雑しているときは、市営円一町駐車場・帝人通り駐車場を利用してください。

※市役所利用者は入庫後2時間まで無料です。窓口での手続きが必要ですので、駐車券を持って来庁してください。

